

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】



| | |
|------------------|---|
| 1. 負傷事故・ヒヤリハットの別 | ヒヤリハット事例 |
| 2. 体験した事例の名称 | 交通事故現場で、安全確保が出来なかった。 |
| 3. 体験した事例の中心的要素 | 1 交差点内の事故で、傷病者がその場に倒れていたため。 2 事故車両等が移動されていたため他の通行車両から傷病者、救急隊の視認性が悪いため。 |
| 4. 体験した事例の原因・理由 | 1 交通の激しい国道上の事故であったため。 2 救急隊1隊での出動のため、安全確保のために人員がいない。 |

【体験した事例の直接的な原因について】



| | |
|------------------|--|
| 1. 体験した事例の直接的な原因 | |
|------------------|--|

【体験した事例について】



| | |
|-----------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 発生日時 | 平成 18年 9月 11日 午後 3 時頃 |
| 2. 発生した当時の天候 | 曇 |
| 3. 発生した活動現場 | 屋外：路上（交通事故現場） |
| 4. 体験した事例の種類 | 回答者が、自分自身で負傷しそうになった。 |
| 5. 負傷事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度） | 死亡していた（させていた）だろう。 |
| 6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか） | 交通事故、 |
| 7. 事例体験時の活動 | 救急、 [現場到着、現場活動初期、現場活動中期、現場活動終了時、] |
| 8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか | その他：応急救護処置応急処置、応急処置、 |
| 9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。 | |

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

| | |
|----------------------|--|
| ○当事者A | 年齢[44]歳、勤続年数[20]年、現場経験年数[20]年、階級[消防司令補]、同様の活動[]、任務[隊員] |
| ○当事者B | 年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動[]、任務[車長] |
| ○当事者C | 年齢[31]歳、勤続年数[10]年、現場経験年数[10]年、階級[消防副士長]、同様の活動[1年に数度]、任務[機関員] |
| その他 (当事者が4人以上の場合) | 傷病者が、道路上で倒れているため、もっとも危険。 |

11. 事例発生の経過。

| | 誰(何)が | なにをした | その他・備考など |
|------|-------|-----------------|----------|
| 経過1 | 当事者A | 隊員として、傷病者の観察処置 | |
| 経過2 | 当事者B | 隊長として、傷病者の観察処置 | |
| 経過3 | 当事者C | 機関員として、傷病者の観察処置 | |
| 経過4 | その他 | 道路上で倒れていた | |
| 経過5 | | | |
| 経過6 | | | |
| 経過7 | | | |
| 経過8 | | | |
| 経過9 | | | |
| 経過10 | | | |

【その事例発生時の状況について】



- 負傷事故の場合 : 負傷事故が起きたのはどうしてだと思うか？
 ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できた。周囲の視界が確保できていた。たまたま、負傷事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

| | |
|---------------------------------------|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 | はい |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。 | いいえ |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。 | いいえ |

b. 注意力が欠如していた

| | |
|----------------------------------|-----|
| ・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。 | いいえ |
| ・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | いいえ |
| ・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。 | いいえ |

c. 経験・知識が不足していた。

| | |
|-----------------------------|-----|
| ・ 活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。 | はい |
| ・ 活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | いいえ |
| ・ 活動に対する経験が不足していた。 | いいえ |

d. 心身の不調があった

| | |
|------------|-----|
| ・ 体調が悪かった。 | いいえ |
| ・ 悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

| | |
|----------------------|-----|
| ・ 装備・資機材自体に問題があった。 | いいえ |
| ・ 装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | いいえ |
| ・ 装備・資機材の対処能力を超えていた。 | いいえ |
| ・ 必要とする装備・資機材がなかった。 | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

| | |
|----------------------------------|-----|
| ・ 障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |
| ・ 特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |

g. 行動しにくい環境だった。

| | |
|-------------------|-----|
| ・ 狭隘な場所であった。 | いいえ |
| ・ 暑かった（寒かった）。 | いいえ |
| ・ 野次馬が多かった。 | いいえ |
| ・ 現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

| | |
|-------------------|-----|
| ・ 足元が躓いたり滑りやすかった。 | いいえ |
| ・ 足元の強度が不足していた。 | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

| | |
|--------------------------------------|-----|
| ・ 活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。） | いいえ |
| ・ 指示内容に誤り・偏りがあった。 | いいえ |
| ・ 指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。） | いいえ |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

| | |
|-----------------|-----|
| ・ 隊員の連携が不十分だった。 | いいえ |
| ・ 隊員が不足していた。 | はい |

○その他

l. その他の理由があった。

| |
|----------------------------|
| はい：事故現場の状況から救急隊3名では対応できない。 |
|----------------------------|